

# 調査結果の分析

## 1. 幸福感

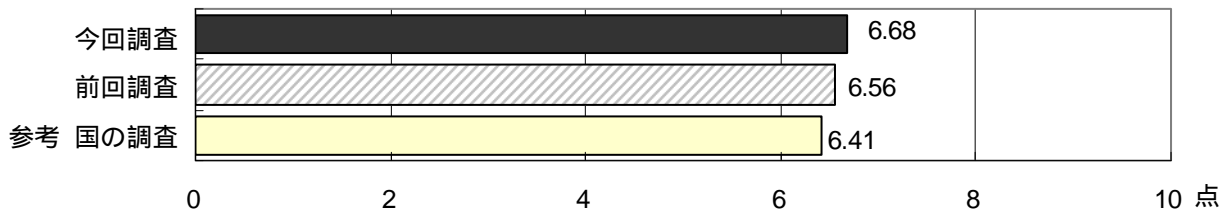
**問1-1** 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ で囲んでください。( は1つだけ)

県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下、「幸福感」と記載）について、10点満点で質問したところ、平均値は6.68点で、前回調査と比較すると0.12点高くなっています。

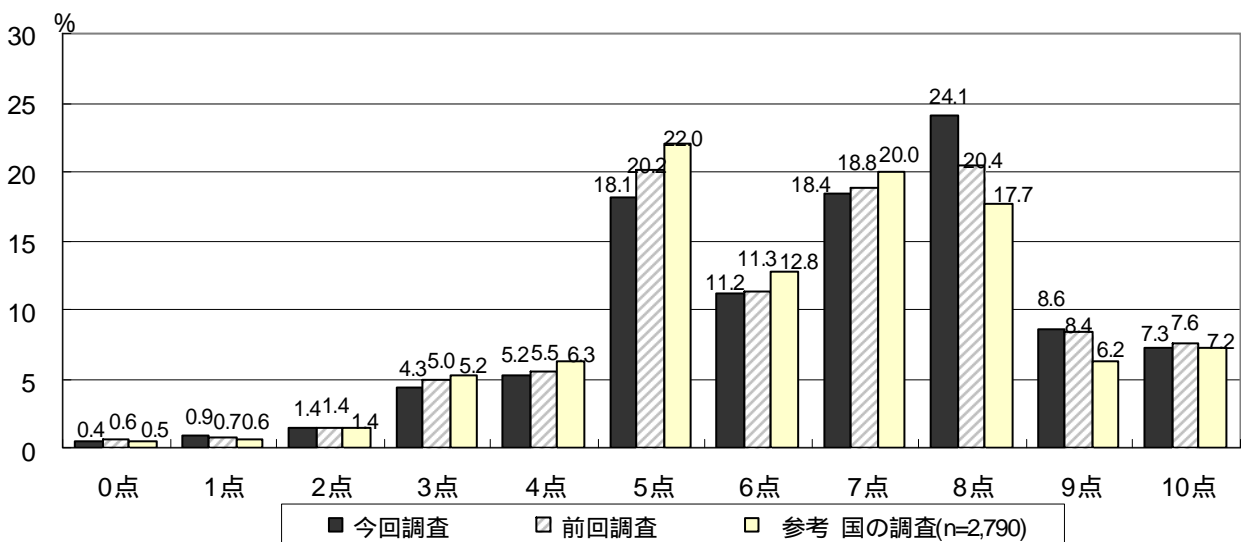
点数の分布をみると、「8点」が24.1%と最も高く、次いで「7点」(18.4%)、「5点」(18.1%)となっており、M字曲線を描いています。前回調査の分布と比較すると「8点」の割合が3.7ポイント高くなっています。

なお、平成24年3月に内閣府が実施した平成23年度国民生活選好度調査（以下、「国の調査」と記載）では、平均値は6.41点となっています。また、点数の分布をみると、「5点」が22.0%と最も高く、次いで「7点」(20.0%)、「8点」(17.7%)となっています。

図表2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



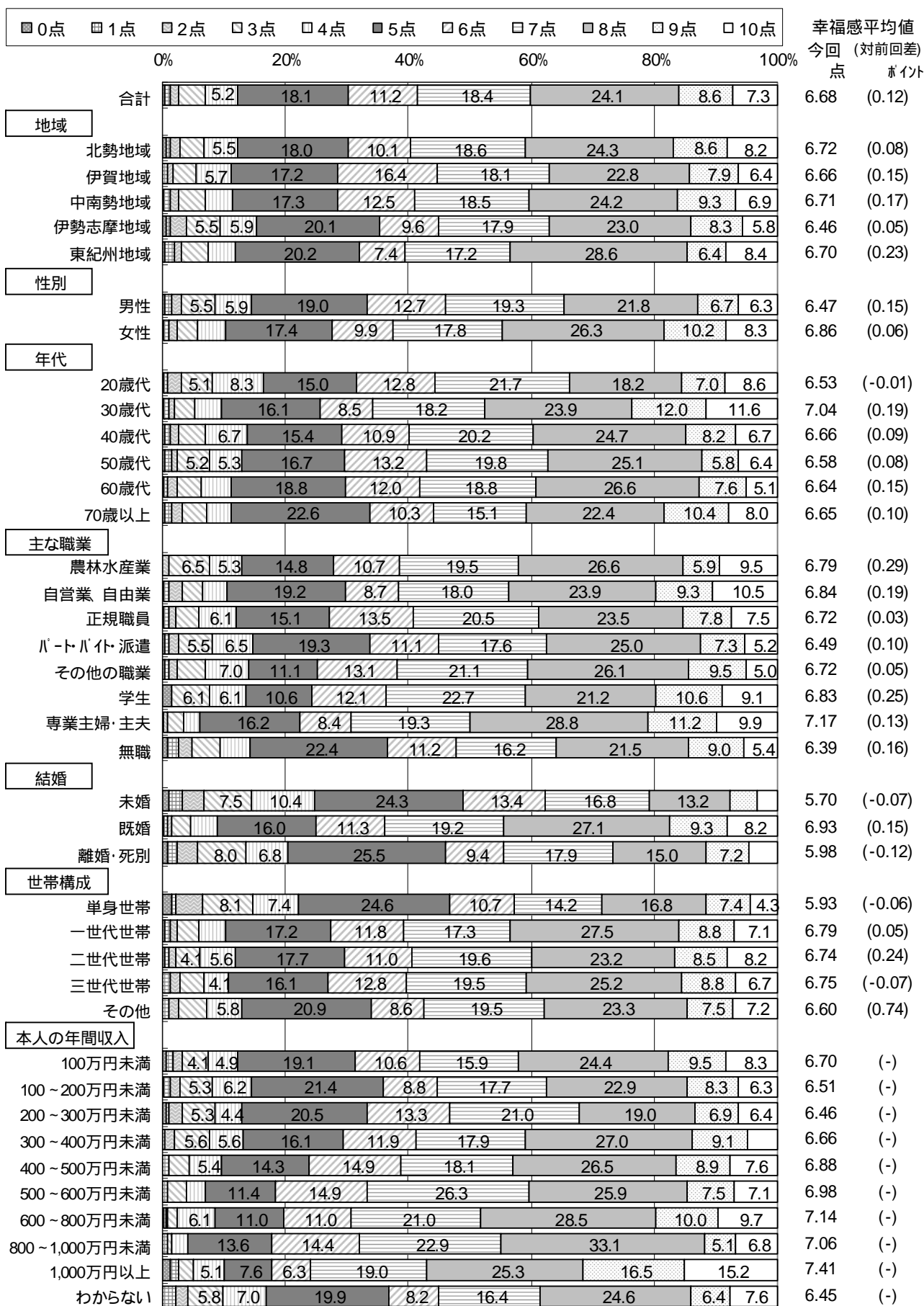
図表2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



「国民生活選好度調査」は、15歳以上80歳未満を対象としていることや、調査員が調査票を配布、回収する個別訪問留置法であることなど、本県の調査方法と異なる点があり、注意が必要です。

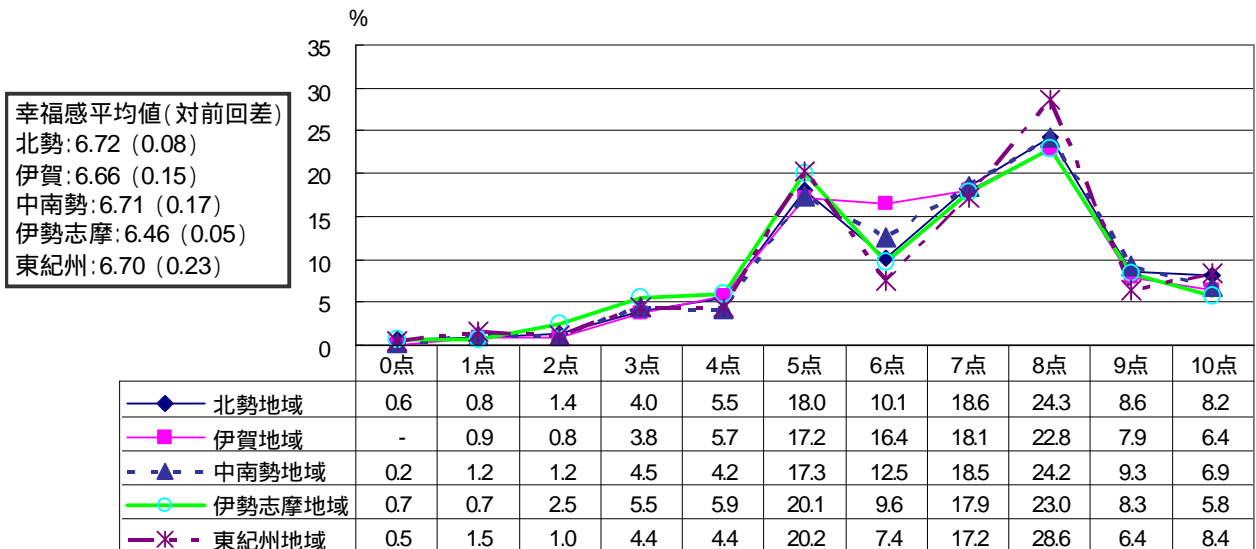
国の調査・・・平成23年度国民生活選好度調査（内閣府、平成24年3月実施）

図表2-1-3 日ごろ感じている幸福の平均値と分布(属性項目別)



地域別では、北勢地域が6.72点と最も高く、次いで中南勢が6.71点、東紀州地域が6.70点、伊賀地域が6.66点、伊勢志摩地域が6.46点となっています。前回調査と比較すると、すべての地域で平均値は高くなっており、東紀州地域は0.23点、中南勢地域は0.17点、伊賀地域は0.15点高くなっています。

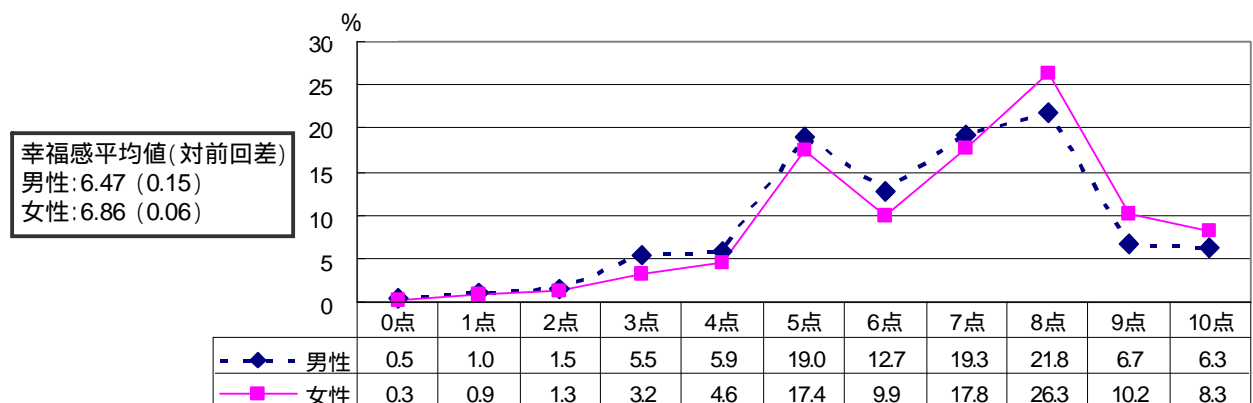
図表2-1-4 日ごろ感じている幸福度の平均値と分布(地域別)



性別では、女性が6.86点と男性(6.47点)より0.39点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.15点高くなっています。

分布をみると、女性は7点以上の割合が62.6%で、男性(54.1%)より8.5ポイント高くなっています。

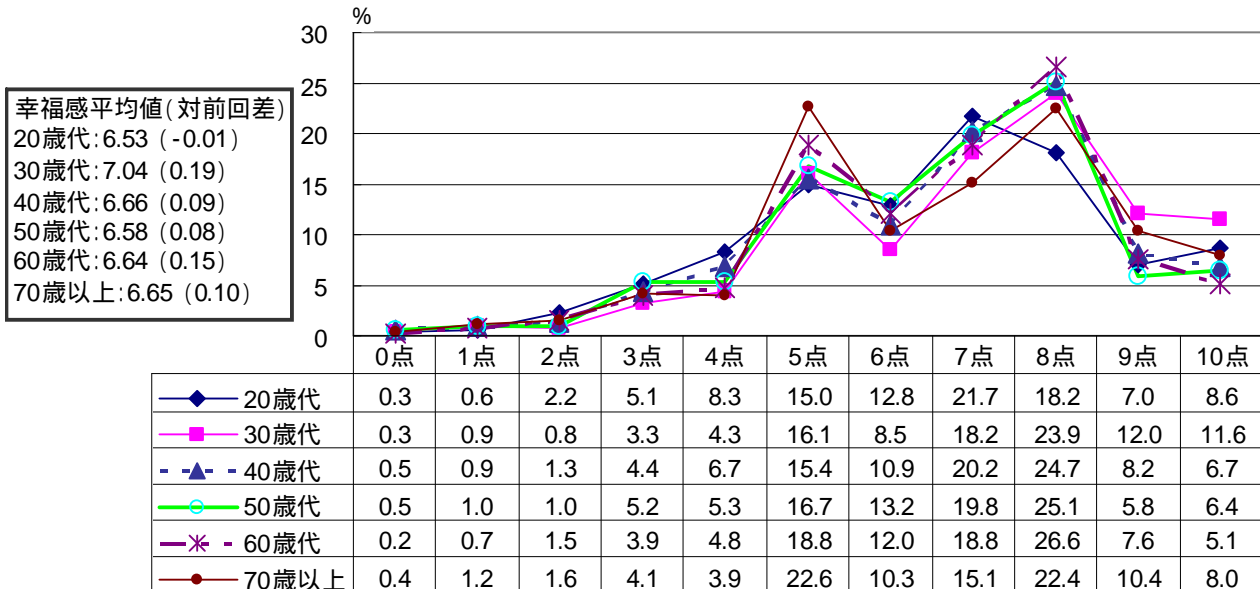
図表2-1-5 日ごろ感じている幸福度の平均値と分布(性別)



年代別では、30歳代が7.04点と最も高く、次いで40歳代が6.66点、70歳以上が6.65点となっています。前回調査と比較すると、20歳代を除くすべての年代で高くなっており、30歳代は0.19点、60歳代は0.15点高くなっています。

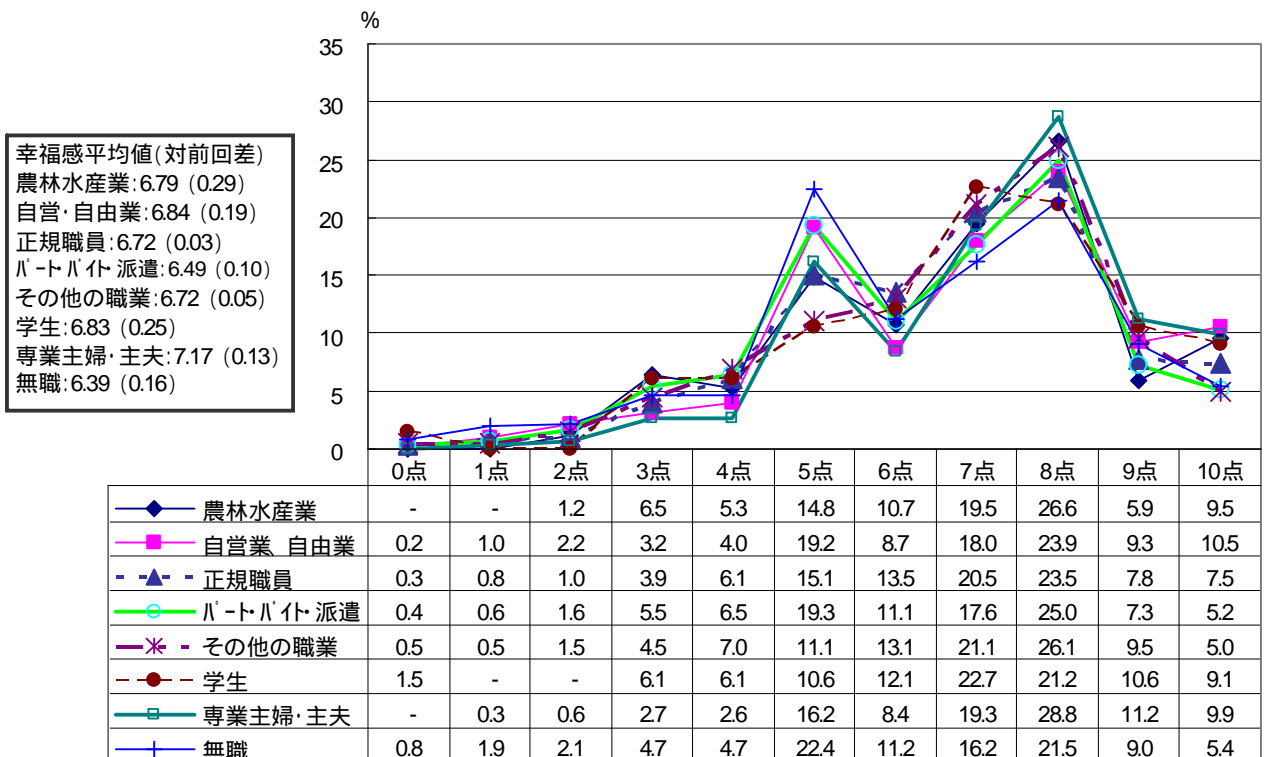
分布をみると、20歳代は「7点」、30歳代から60歳代は「8点」、70歳以上は「5点」が最も高くなっています。特に、30歳代は7点以上の割合が65.7%と年代の中で最も高くなっています。

図表2-1-6 日ごろ感じている幸福感的の平均値と分布(年代別)



主な職業別では、専業主婦・主夫が7.17点と最も高く、次いで自営業・自由業が6.84点、学生が6.83点となっています。一方、無職は6.39点で、職業の中で最も低くなっています。前回調査と比較すると、農林水産業は0.29点、学生は0.25点、自営・自由業は0.19点、無職は0.16点高くなっています。

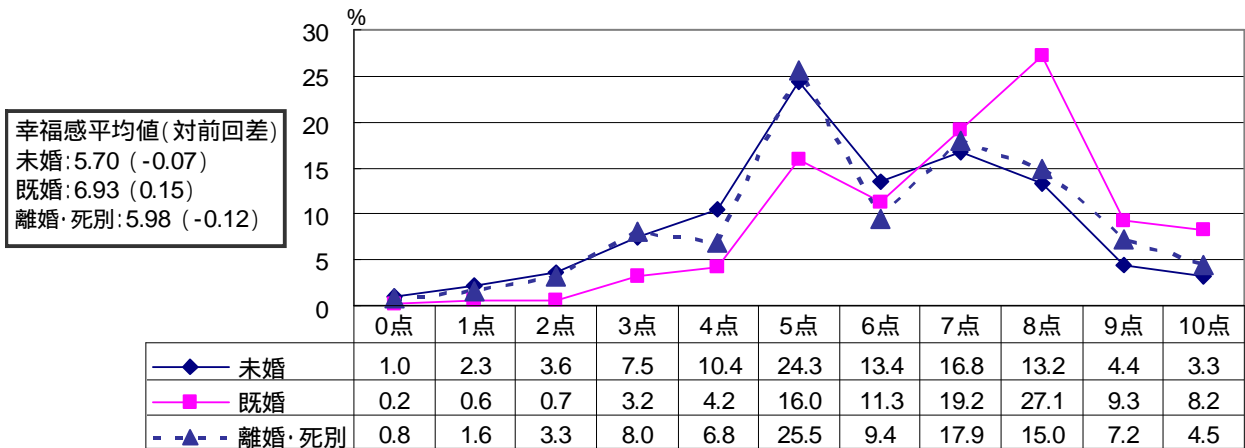
図表2-1-7 日ごろ感じている幸福感的の平均値と分布(主な職業別)



結婚別では、既婚が6.93点と最も高く、次いで離婚・死別が5.98点、未婚が5.70点となっています。前回調査と比較すると、既婚は0.15点高くなっている一方、未婚、離婚・死別は低くなっています。

分布をみると、既婚は8点が27.1%と最も高くなっているのに対し、未婚、離婚・死別は5点がそれぞれ24.3%、25.5%と最も高くなっています。また、既婚は7点以上が63.8%であるのに対し、未婚は37.7%にとどまっています。

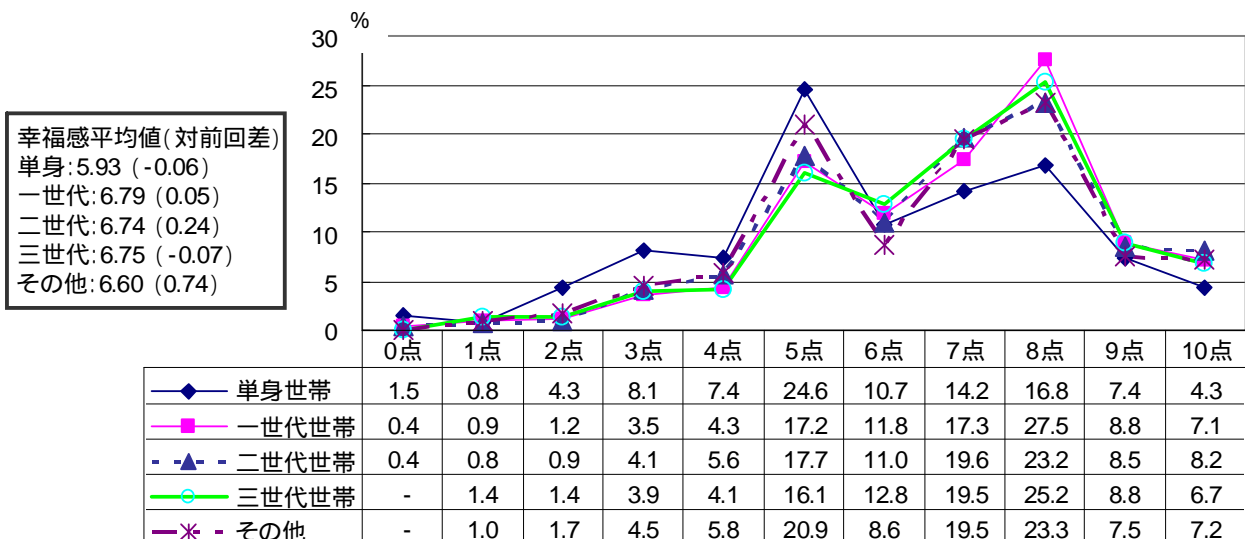
図表2-1-8 日ごろ感じている幸福感的の平均値と分布(結婚別)



世帯構成別では、一世代世帯、二世帯世帯、三世帯世帯のいずれも6.7点台であるのに対し、単身世帯は5.93点と低くなっています。

分布をみると、単身世帯を除くすべての世帯で8点が最も高くなっており、7点以上の割合が約6割となっています。一方、単身世帯は5点が最も高くなっており、7点以上の割合が42.7%にとどまっています。

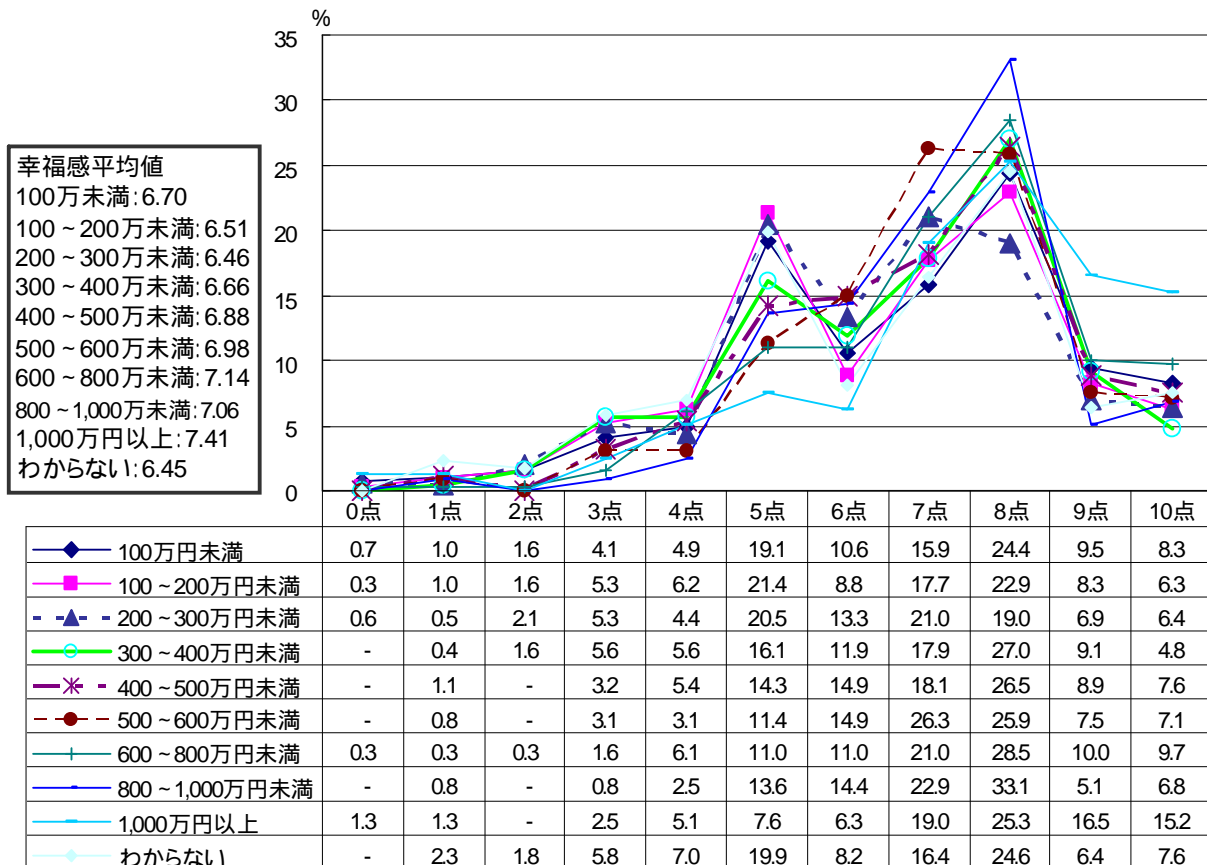
図表2-1-9 日ごろ感じている幸福感的の平均値と分布(世帯構成別)



本人の年間収入別では、1,000万円以上の層が7.41点と最も高く、次いで600万円から800万円未満の層が7.14点、800万円から1,000万円未満の層が7.06点となっており、600万円以上の層は7点台となっています。

分布をみると、200万円から300万円未満の層、500万円から600万円未満の層を除くすべての層で8点が最も高くなっています。また400万円未満の層は7点以上が5割台であるのに対し、1,000万円以上の層は76.0%となっています。

図表2-1-10 日ごろ感じている幸福感的の平均値と分布(本人の年間収入別)



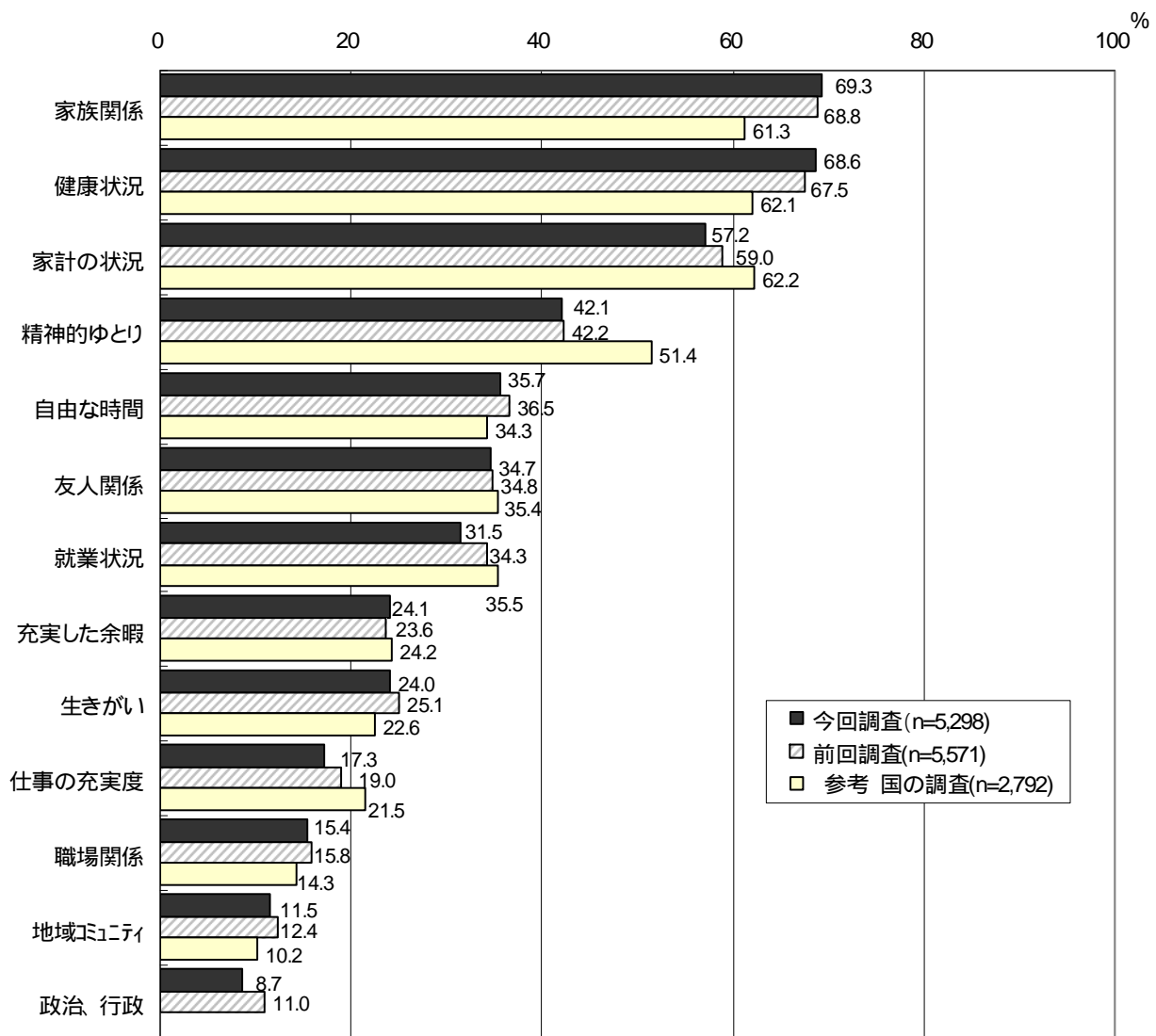
**同1-2** 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいいくつでも)

幸福感を判断する際に重視した事項では、「家族関係」が69.3%と最も高く、次いで「健康状況」(68.6%)、「家計の状況(所得・消費)」(57.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「生きがい」(前回：8位、今回：9位)と「充実した余暇」(前回：9位、今回：8位)で順位の入れ替わりが見られたものの、特に大きな変化はみられません。

なお、国の調査との比較では、「家族関係」は県の今回調査の方が8.0ポイント高く、「精神的ゆとり」は国の調査の方が9.3ポイント高くなっています。

図表 2-1-11 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)



国の調査では、「政治、行政」の選択肢はありません。  
 国の調査・・・平成23年度国民生活選好度調査(内閣府、平成24年3月実施)

地域別では、すべての地域で「家族関係」が最も高く、上位4位までは同じ項目となっています。

前回調査と比較すると東紀州地域は「家族関係」が10.4ポイント低くなっています。また、5位は北勢地域が「友人関係」から「自由な時間」に、中南勢地域は「自由な時間」から「友人関係」にそれぞれ変わっています。

図表2-1-12 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(地域別上位5項目) (単位:%、カッコ内は対前回差)

地域	1位		2位		3位		4位		5位						
北勢地域	健康状況	69.5	(1.9)	健康状況	69.5	(0.8)	家計の状況	59.2	(-1.0)	精神的ゆとり	42.1	(-1.5)	自由な時間	36.2	(1.6)
伊賀地域	家族関係	70.1	(-1.1)	健康状況	68.8	(-2.1)	家計の状況	57.4	(0.3)	精神的ゆとり	44.6	(4.0)	自由な時間	37.3	(0.5)
中南勢地域	家族関係	70.3	(0.9)	健康状況	69.3	(1.2)	家計の状況	55.8	(-4.0)	精神的ゆとり	41.9	(1.2)	友人関係	34.6	(2.0)
伊勢志摩地域	家族関係	67.9	(2.3)	健康状況	66.8	(2.2)	家計の状況	54.8	(0.3)	精神的ゆとり	42.3	(0.1)	自由な時間	35.5	(-2.4)
東紀州地域	家族関係	61.7	(-10.4)	健康状況	58.4	(-6.7)	家計の状況	51.7	(-9.2)	精神的ゆとり	37.3	(-3.6)	自由な時間	35.4	(-5.1)

性別では、男性は「健康状況」(67.6%)、女性は「家族関係」(72.9%)が最も高く、上位4位までは同じ項目となっていますが、5位は男性が「自由な時間」、女性は「友人関係」となっています。

前回調査と比較すると、男性の5位が「就業状況」から「自由な時間」に変わっています。

図表2-1-13 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(性別上位5項目) (単位:%、カッコ内は対前回差)

性別	1位		2位		3位		4位		5位						
男性	健康状況	67.6	(0.6)	家族関係	65.5	(-0.1)	家計の状況	56.9	(-3.2)	精神的ゆとり	39.5	(-1.5)	自由な時間	33.4	(1.3)
女性	家族関係	72.9	(1.1)	健康状況	69.7	(1.5)	家計の状況	58.0	(-0.4)	精神的ゆとり	44.5	(0.9)	友人関係	41.1	(-0.1)

年代別では、20歳代から40歳代までは「家族関係」、50歳代以上は「健康状況」が最も高くなっています。20歳代は「友人関係」が54.3%と年代の中で最も高く、2位となっています。

前回調査と比較すると、50歳代の1位が「家族関係」から「健康状況」に変わっています。また、40歳代は「就業状況」が前回調査の4位から今回調査では5位になっている一方、「精神的ゆとり」が5位から4位になっています。

図表2-1-14 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(年代別上位5項目) (単位:%、カッコ内は対前回差)

年代	1位		2位		3位		4位		5位						
20歳代	家族関係	61.9	(1.4)	友人関係	54.3	(2.3)	健康状況	53.0	(3.9)	家計の状況	48.6	(-0.7)	就業状況	47.3	(0.6)
30歳代	家族関係	73.3	(-0.9)	健康状況	63.0	(0.8)	家計の状況	60.4	(-0.6)	就業状況	46.0	(0.7)	精神的ゆとり	40.5	(-2.7)
40歳代	家族関係	74.1	(1.5)	健康状況	69.8	(1.3)	家計の状況	67.1	(-1.9)	精神的ゆとり	46.3	(6.0)	就業状況	43.5	(-7.2)
50歳代	健康状況	74.0	(4.5)	家族関係	73.3	(2.2)	家計の状況	67.0	(-1.4)	就業状況	47.7	(-1.5)	精神的ゆとり	46.6	(4.1)
60歳代	健康状況	73.2	(2.1)	家族関係	67.8	(1.1)	家計の状況	57.3	(-2.5)	精神的ゆとり	41.6	(-3.3)	自由な時間	39.8	(2.1)
70歳代以上	健康状況	66.1	(-4.6)	家族関係	65.0	(-1.0)	自由な時間	45.6	(-5.8)	家計の状況	43.7	(-2.0)	友人関係	37.1	(-2.2)



性・年代別について、20歳代の男性は、「家計の状況」(前回：1位、今回：4位)、「就業状況」(前回：3位、今回：5位)、「友人関係」(前回：4位、今回1位)など、順位の変動が見られます。

20歳代、30歳代の女性は、「就業状況」が今回調査ではそれぞれ5位、4位に入っている一方、「精神的ゆとり」(前回調査でそれぞれ3位、5位)が上位5項目から外れています。

図表2-1-15 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(男性・年代別上位5項目) (単位:% カッコ内は対前回差)

男性・年代	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代	家族関係 友人関係		53.1 53.1	(2.0) (4.2)	健康状況	51.0 (2.1)	家計の状況	49.7 (-1.4)	精神的ゆとり 就業状況	49.0(5.2) 49.0(-0.4)
30歳代	家族関係	64.4 (-2.3)	家計の状況	57.9 (-3.8)	健康状況	54.8 (-3.5)	就業状況	46.7 (-1.3)	精神的ゆとり	35.6 (-6.5)
40歳代	家族関係	68.6 (-0.1)	健康状況	62.9 (-1.6)	家計の状況	62.6 (-6.4)	就業状況	43.7 (-6.7)	精神的ゆとり	41.4 (4.3)
50歳代	健康状況	70.2 (3.6)	家族関係	69.3 (2.7)	家計の状況	63.3 (-4.6)	就業状況	50.9 (-2.6)	精神的ゆとり	42.0 (-0.2)
60歳代	健康状況	75.3 (3.5)	家族関係	66.8 (-0.9)	家計の状況	57.3 (-5.3)	精神的ゆとり	39.2 (-5.6)	自由な時間	37.2 (5.3)
70歳代以上	健康状況	70.4 (-2.9)	家族関係	62.9 (-1.6)	家計の状況	49.1 (1.1)	自由な時間	42.5 (-3.4)	精神的ゆとり	35.7 (-1.3)

図表2-1-16 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(女性・年代別上位5項目) (単位:% カッコ内は対前回差)

女性・年代	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代	家族関係	69.4 (0.2)	友人関係	55.3 (0.2)	健康状況	54.7 (5.7)	家計の状況	47.6 (0.1)	就業状況	45.9 (2.0)
30歳代	家族関係	79.3 (-0.7)	健康状況	68.5 (3.3)	家計の状況	62.1 (1.6)	就業状況	45.5 (2.2)	友人関係	45.0 (-1.0)
40歳代	家族関係	77.9 (2.4)	健康状況	74.5 (3.1)	家計の状況	70.1 (1.1)	精神的ゆとり	49.6 (6.9)	就業状況	43.2 (-7.6)
50歳代	健康状況	77.8 (5.6)	家族関係	77.2 (2.0)	家計の状況	70.8 (1.9)	精神的ゆとり	51.2 (8.5)	就業状況	44.8 (-0.5)
60歳代	健康状況	71.6 (1.2)	家族関係	68.8 (2.9)	家計の状況	57.3 (0.2)	精神的ゆとり	43.6 (-1.3)	自由な時間	42.4 (-1.1)
70歳代以上	家族関係	67.3 (-0.1)	健康状況	62.5 (-5.4)	自由な時間	48.2 (-9.5)	友人関係	42.7 (-5.7)	家計の状況	39.3 (-4.3)

主な職業別について、前回調査と比較すると、学生は「健康状況」が10.8ポイント高くなり、前回調査の5位から2位となっています。また、農林水産業は「家族関係」が前回調査の2位から1位となっています。

図表2-1-17 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(主な職業別上位5項目) (単位:% カッコ内は対前回差)

主な職業	1位		2位		3位		4位		5位	
農林水産業	家族関係	71.1 (3.8)	健康状況	65.3 (-4.0)	家計の状況	56.1 (4.4)	精神的ゆとり	42.2 (1.7)	自由な時間	38.2 (2.6)
自営業・自由業	健康状況	71.8 (2.8)	家族関係	68.8 (0.4)	家計の状況	59.4 (-0.7)	精神的ゆとり	41.0 (-1.0)	就業状況	37.6 (-4.9)
正規職員	家族関係	71.1 (1.1)	健康状況	67.6 (0.8)	家計の状況	62.7 (-3.9)	就業状況	50.5 (-3.1)	精神的ゆとり	42.3 (0.9)
パート・アルバイト・派遣	家族関係	72.8 (6.0)	健康状況	71.4 (6.1)	家計の状況	61.9 (-0.2)	就業状況	45.1 (-3.1)	精神的ゆとり	44.3 (4.4)
その他の職業	家族関係	71.5 (6.8)	健康状況	64.0 (0.0)	家計の状況	59.5 (1.5)	精神的ゆとり	46.5 (7.2)	就業状況	44.5 (7.8)
学生	友人関係	65.7 (-1.8)	健康状況	62.7 (10.8)	家族関係	56.7 (-8.2)	自由な時間	55.2 (-0.6)	精神的ゆとり	52.2 (-7.5)
専業主婦・主夫	家族関係	75.8 (-3.0)	健康状況	71.8 (-0.3)	家計の状況	60.4 (-0.2)	精神的ゆとり	46.2 (0.1)	友人関係	42.4 (0.6)
無職	健康状況	66.4 (-2.7)	家族関係	61.6 (-2.5)	自由な時間	47.2 (-2.9)	家計の状況	46.9 (-2.8)	精神的ゆとり	37.5 (-5.6)

結婚別では、既婚は「家族関係」、未婚、離婚・死別は「健康状況」が最も高くなっています。特に既婚は「家族関係」が74.8%と高くなっています。未婚は「就業状況」が46.4%で、5位となっています。

図表2-1-18 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(結婚別上位5項目) (単位:%、カッコ内は対前回差)

結婚	1位		2位		3位		4位		5位	
未婚	健康状況	59.5 (1.7)	家計の状況	51.1 (-4.2)	家族関係	51.0 (1.7)	精神的ゆとり	46.9 (-1.5)	就業状況	46.4 (-1.6)
既婚	家族関係	74.8 (1.0)	健康状況	71.2 (1.3)	家計の状況	60.5 (-0.9)	精神的ゆとり	42.3 (0.8)	自由な時間	33.3 (-1.2)
離婚・死別	健康状況	64.1 (0.1)	家族関係	54.1 (-4.5)	家計の状況	51.8 (1.1)	自由な時間	40.6 (-4.2)	精神的ゆとり	39.6 (-2.6)

世帯構成別では、単身世帯、一世代世帯は「健康状況」、二世帯世帯、三世帯世帯は「家族関係」が最も高くなっています。一世代世帯は「健康状況」が2位から1位に変わっています。また、単身世帯は、「家族関係」が44.0%と他の世帯構成に比べて低く、4位となっています。

図表2-1-19 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(世帯構成別上位5項目) (単位:%、カッコ内は対前回差)

世帯構成	1位		2位		3位		4位		5位	
単身世帯	健康状況	62.3 (-4.7)	家計の状況	49.8 (-1.9)	自由な時間	45.0 (-2.8)	家族関係	44.0 (0.2)	精神的ゆとり	40.0 (-7.0)
一世代世帯	健康状況	70.8 (0.2)	家族関係	68.2 (-2.6)	家計の状況	54.2 (-5.1)	精神的ゆとり	40.4 (-2.6)	自由な時間	39.7 (-1.7)
二世帯世帯	家族関係	72.4 (3.2)	健康状況	68.9 (2.7)	家計の状況	61.4 (0.2)	精神的ゆとり	43.3 (1.4)	就業状況	37.6 (-2.7)
三世帯世帯	家族関係	77.2 (0.0)	健康状況	70.1 (2.3)	家計の状況	58.6 (1.3)	精神的ゆとり	44.0 (4.1)	友人関係	37.2 (-0.5)
その他	家族関係	70.8 (5.8)	健康状況	63.6 (7.3)	家計の状況	51.5 (-2.3)	精神的ゆとり	42.3 (-5.2)	自由な時間	37.1 (0.8)

本人の年間収入別では、100万円未満の層、400万円から1,000万円未満の層は「家族関係」、100万円から400万円未満の層、1,000万円以上の層は「健康状況」が最も高くなっています。800万円以上の層は「家計の状況」が2位、「仕事の充実度」が5位となっています。また、400万円以上の層は「就業状況」が4位となっています。

図表2-1-20 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)(本人の年間収入別上位5項目) (単位:%、カッコ内は対前回差)

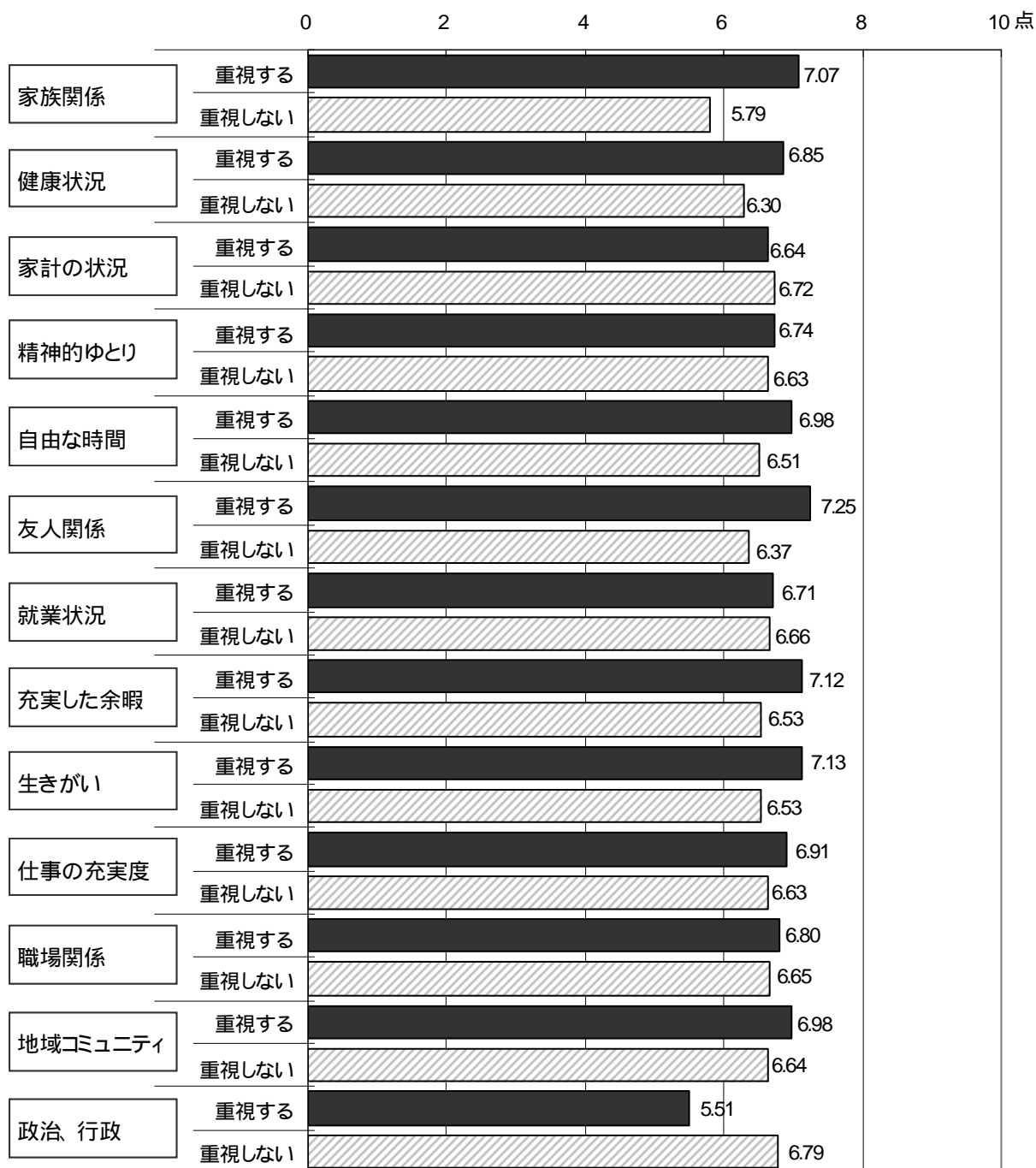
本人の年間収入	1位		2位		3位		4位		5位	
100万円未満	家族関係	70.9 (-)	健康状況	67.3 (-)	家計の状況	55.7 (-)	精神的ゆとり	44.2 (-)	友人関係	39.0 (-)
100万円～200万円未満	健康状況	67.5 (-)	家族関係	65.6 (-)	家計の状況	54.1 (-)	自由な時間	42.1 (-)	精神的ゆとり	39.7 (-)
200万円～300万円未満	健康状況	69.7 (-)	家族関係	66.5 (-)	家計の状況	54.5 (-)	精神的ゆとり	44.4 (-)	自由な時間	37.9 (-)
300万円～400万円未満	健康状況	71.2 (-)	家族関係	70.6 (-)	家計の状況	60.1 (-)	精神的ゆとり	40.3 (-)	就業状況	38.9 (-)
400万円～500万円未満	家族関係	72.4 (-)	健康状況	70.0 (-)	家計の状況	65.1 (-)	就業状況	43.7 (-)	精神的ゆとり	42.4 (-)
500万円～600万円未満	家族関係	72.4 (-)	健康状況	69.3 (-)	家計の状況	66.3 (-)	就業状況	44.4 (-)	精神的ゆとり	42.5 (-)
600万円～800万円未満	家族関係	75.6 (-)	健康状況	72.1 (-)	家計の状況	67.9 (-)	就業状況	49.2 (-)	精神的ゆとり	45.7 (-)
800万円～1,000万円未満	家族関係	80.8 (-)	家計の状況	73.3 (-)	健康状況	72.5 (-)	就業状況	60.8 (-)	仕事の充実度	40.8 (-)
1,000万円以上	健康状況	75.0 (-)	家計の状況	72.5 (-)	家族関係	70.0 (-)	就業状況	50.0 (-)	仕事の充実度	45.0 (-)
わからない	家族関係	65.5 (-)	健康状況	63.2 (-)	家計の状況	46.2 (-)	自由な時間	39.2 (-)	精神的ゆとり	38.0 (-)

(幸福感を判断する際に重視した事項と幸福感との関係について)

幸福感を判断する際に重視した事項について、選択した(重視する)人の幸福感の平均値と、選択しなかった(重視しない)人の幸福感の平均値を比較したところ、「家計の状況」と「政治、行政」を除き、選択した(重視する)人の平均値が選択しなかった(重視しない)人の平均値より高くなっています。最も差が大きいのは、「家族関係」で、選択した(重視する)人が7.07点で、選択しなかった人(5.79点)より1.28点高くなっています。

一方、「家計の状況」と「政治、行政」は選択した(重視する)人の平均値が選択しなかった(重視しない)人の平均値より低く、特に「政治、行政」は選択した(重視する)人の平均値(5.51点)が、選択しなかった(重視しない)人の平均値(6.79点)より1.28点低くなっています。

図表 2-1-21 幸福感を判断する際に重視した事項を選択した(重視する)人と選択しない(重視しない)人の幸福感の平均値

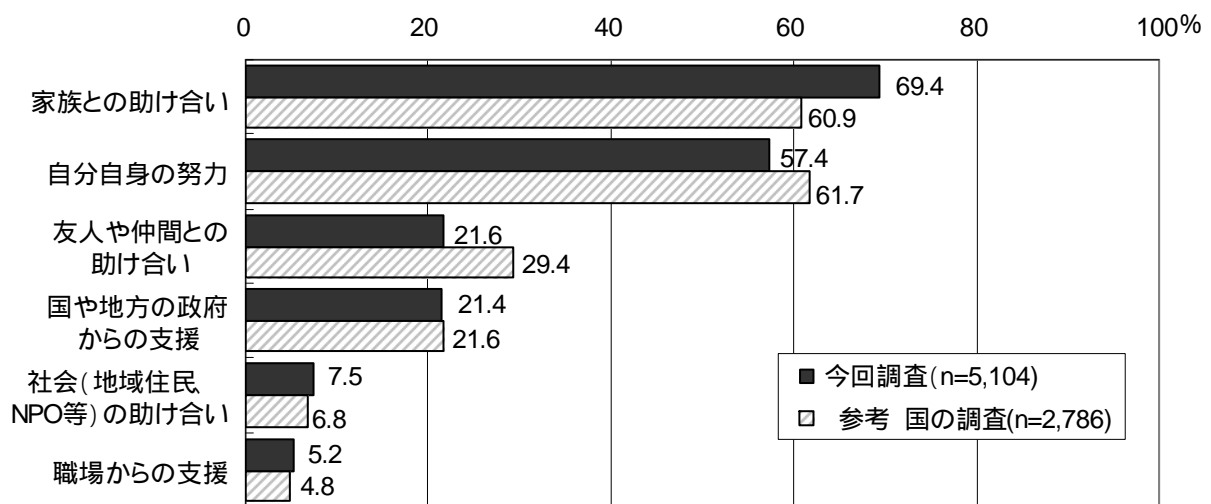


**問1-3** あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまでをつけてください。( は2つまで)

幸福感を高める手立てでは、「家族との助け合い」が69.4%と最も高く、次いで「自分自身の努力」(57.4%)となっています。一方、「社会(地域住民、NPO等)の助け合い」、「職場からの支援」はそれぞれ7.5%、5.2%となっています。

国の調査との比較では、「家族との助け合い」は県の調査(69.4%)が国の調査(60.9%)より8.5ポイント高く、「友人や仲間との助け合い」は国の調査(29.4%)が県の調査(21.6%)より7.8ポイント高くなっています。

図表2-1-22 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(国との比較)



国の調査・・・平成23年度国民生活選好度調査(内閣府、平成24年3月実施)

地域別では、すべての地域で「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」となっており、上位2位までは同じ項目となっています。北勢地域、伊賀地域、伊勢志摩地域は3位が「国や地方の政府からの支援」、4位が「友人や仲間との助け合い」となっており、中南勢地域、東紀州地域は3位が「友人や仲間との助け合い」、4位が「国や地方の政府からの支援」となっています。

図表 2-1-23 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(地域別上位5項目) (%)

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢地域	家族との助け合い 70.8	自分自身の努力 56.9	国や地方の政府からの支援 22.1	友人や仲間との助け合い 21.7	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.1
伊賀地域	家族との助け合い 70.8	自分自身の努力 58.4	国や地方の政府からの支援 19.8	友人や仲間との助け合い 19.5	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.6
中南勢地域	家族との助け合い 67.2	自分自身の努力 59.1	友人や仲間との助け合い 22.5	国や地方の政府からの支援 19.5	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 8.7
伊勢志摩地域	家族との助け合い 69.2	自分自身の努力 56.6	国や地方の政府からの支援 24.2	友人や仲間との助け合い 20.6	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 6.6
東紀州地域	家族との助け合い 65.0	自分自身の努力 52.5	友人や仲間との助け合い 22.0	国や地方の政府からの支援 21.5	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.0

性別では、男女とも「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」となっています。男性は3位が「国や地方の政府からの支援」、女性は「友人や仲間との助け合い」となっています。

図表 2-1-24 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(性別上位5項目) (%)

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	家族との助け合い 65.4	自分自身の努力 59.5	国や地方の政府からの支援 22.8	友人や仲間との助け合い 18.1	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 8.8
女性	家族との助け合い 72.8	自分自身の努力 55.9	友人や仲間との助け合い 24.5	国や地方の政府からの支援 20.1	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 6.3

年代別では、20歳代は「自分自身の努力」が最も高く、次いで「家族との助け合い」となっているのに対し、それ以外の年代は「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」となっています。また、20歳代と70歳以上は、「友人や仲間との助け合い」が3位となっており、特に20歳代は43.2%となっています。20歳代から40歳代までは5位が「職場からの支援」となっている一方、50歳代以上は「社会(地域住民、NPO等)の助け合い」となっています。

図表 2-1-25 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(年代別上位5項目) (%)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代	自分自身の努力 59.9	家族との助け合い 49.7	友人や仲間との助け合い 43.2	国や地方の政府からの支援 16.8	職場からの支援 11.0
30歳代	家族との助け合い 68.2	自分自身の努力 54.6	国や地方の政府からの支援 24.4	友人や仲間との助け合い 23.0	職場からの支援 9.0
40歳代	家族との助け合い 67.8	自分自身の努力 57.0	国や地方の政府からの支援 25.4	友人や仲間との助け合い 17.8	職場からの支援 10.7
50歳代	家族との助け合い 72.1	自分自身の努力 53.8	国や地方の政府からの支援 23.2	友人や仲間との助け合い 17.1	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.8
60歳代	家族との助け合い 71.9	自分自身の努力 60.0	国や地方の政府からの支援 20.4	友人や仲間との助け合い 19.0	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 8.4
70歳以上	家族との助け合い 71.4	自分自身の努力 59.7	友人や仲間との助け合い 24.1	国や地方の政府からの支援 17.2	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 10.6

主な職業別では、学生を除くすべての職業で「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」となっています。特に専業主婦・主夫は「家族との助け合い」が80.2%で、職業の中で最も高くなっています。一方、学生は「自分自身の努力」(71.0%)が最も高く、次いで「友人や仲間との助け合い」となっています。また、正規職員は5位が「職場からの支援」(12.2%)となっています。

図表 2-1-26 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(主な職業別上位5項目) (%)

主な職業	1位	2位	3位	4位	5位
農林水産業	家族との助け合い 70.8	自分自身の努力 65.5	国や地方の政府からの支援 23.2	友人や仲間との助け合い 17.3	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 10.7
自営業 自由業	家族との助け合い 69.7	自分自身の努力 62.7	友人や仲間との助け合い 22.0	国や地方の政府からの支援 19.1	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 6.3
正規職員	家族との助け合い 67.2	自分自身の努力 55.5	国や地方の政府からの支援 21.4	友人や仲間との助け合い 20.1	職場からの支援 12.2
パート・アルバイト・派遣	家族との助け合い 68.1	自分自身の努力 58.1	国や地方の政府からの支援 25.4	友人や仲間との助け合い 19.3	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 6.8
その他の職業	家族との助け合い 63.8	自分自身の努力 59.6	友人や仲間との助け合い 29.3	国や地方の政府からの支援 20.7	職場からの支援 6.9
学生	自分自身の努力 71.0	友人や仲間との助け合い 56.5	家族との助け合い 41.9	国や地方の政府からの支援 11.3	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 4.8
専業主婦・主夫	家族との助け合い 80.2	自分自身の努力 53.5	友人や仲間との助け合い 23.2	国や地方の政府からの支援 20.4	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.0
無職	家族との助け合い 68.5	自分自身の努力 57.0	国や地方の政府からの支援 21.1	友人や仲間との助け合い 20.5	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 12.1

結婚別では、既婚は「家族との助け合い」が最も高く、未婚、離婚・死別は「自分自身の努力」が最も高くなっています。特に既婚は「家族との助け合い」が75.0%で、未婚、離婚・死別と比べて10ポイント以上高くなっています。また、既婚、離婚・死別は3位が「国や地方の政府からの支援」となっています。一方、未婚は3位が「友人や仲間との助け合い」(38.1%)で、既婚、離婚・死別より10ポイント以上高くなっているほか、5位が「職場の支援」(10.6%)となっています。

図表 2-1-27 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(結婚別上位5項目) (%)

結婚	1位	2位	3位	4位	5位
未婚	自分自身の努力 64.0	家族との助け合い 41.8	友人や仲間との助け合い 38.1	国や地方の政府からの支援 21.3	職場からの支援 10.6
既婚	家族との助け合い 75.0	自分自身の努力 55.9	国や地方の政府からの支援 21.2	友人や仲間との助け合い 18.2	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.7
離婚・死別	自分自身の努力 60.7	家族との助け合い 57.3	国や地方の政府からの支援 25.9	友人や仲間との助け合い 25.7	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.4

世帯構成別では、単身世帯を除くすべての世帯は「家族との助け合い」が最も高くなっています。単身世帯は、「自分自身の努力」(67.6%)が最も高く、「家族との助け合い」が43.6%と他の世帯に比べて低くなっています。

図表2-1-28 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(世帯構成別上位5項目) (%)

世帯構成	1位	2位	3位	4位	5位
単身世帯	自分自身の努力 67.6	家族との助け合い 43.6	友人や仲間との助け合い 29.2	国や地方の政府からの支援 23.2	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 8.9
一世代世帯	家族との助け合い 74.3	自分自身の努力 57.9	友人や仲間との助け合い 19.7	国や地方の政府からの支援 19.5	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 8.1
二世帯世帯	家族との助け合い 69.4	自分自身の努力 56.6	国や地方の政府からの支援 22.7	友人や仲間との助け合い 20.5	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.1
三世帯世帯	家族との助け合い 74.5	自分自身の努力 56.4	友人や仲間との助け合い 21.8	国や地方の政府からの支援 19.9	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.2
その他	家族との助け合い 69.0	自分自身の努力 54.0	友人や仲間との助け合い 25.9	国や地方の政府からの支援 20.1	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.7

本人の年間収入別では、1,000万円未満の層は「家族との助け合い」が最も高く、1,000万円以上の層は「自分自身の努力」が最も高くなっています。1,000万円以上の層は「友人や仲間との助け合い」(26.0%)が本人の年間収入別の層の中で最も高くなっている一方、「国や地方の政府からの支援」(10.4%)が最も低くなっています。

図表2-1-29 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)(本人の年間収入別上位5項目) (%)

本人の年間収入	1位	2位	3位	4位	5位
100万円未満	家族との助け合い 72.3	自分自身の努力 54.4	国や地方の政府からの支援 23.1	友人や仲間との助け合い 22.6	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.9
100~200万円未満	家族との助け合い 67.4	自分自身の努力 57.2	国や地方の政府からの支援 23.4	友人や仲間との助け合い 21.6	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 8.8
200~300万円未満	家族との助け合い 66.4	自分自身の努力 58.3	友人や仲間との助け合い 23.1	国や地方の政府からの支援 20.7	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 8.6
300~400万円未満	家族との助け合い 63.1	自分自身の努力 60.5	友人や仲間との助け合い 23.0	国や地方の政府からの支援 21.5	職場からの支援 8.4
400~500万円未満	家族との助け合い 69.1	自分自身の努力 61.2	友人や仲間との助け合い 20.8	国や地方の政府からの支援 18.3	職場からの支援 9.8
500~600万円未満	家族との助け合い 66.9	自分自身の努力 55.2	国や地方の政府からの支援 25.0	友人や仲間との助け合い 15.7	職場からの支援 11.3
600~800万円未満	家族との助け合い 73.0	自分自身の努力 66.1	国や地方の政府からの支援 18.2	友人や仲間との助け合い 14.7	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 6.2
800~1,000万円未満	家族との助け合い 78.6	自分自身の努力 54.7	国や地方の政府からの支援 17.9	友人や仲間との助け合い 17.1	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 9.4
1,000万円以上	自分自身の努力 71.4	家族との助け合い 67.5	友人や仲間との助け合い 26.0	国や地方の政府からの支援 10.4	職場からの支援 3.9
わからない	家族との助け合い 72.6	自分自身の努力 53.7	国や地方の政府からの支援 20.7	友人や仲間との助け合い 19.5	社会(地域住民、NPO等)の助け合い 7.3